

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分
 【発行日】平成 20 年 10 月 30 日 (2008.10.30)

【公表番号】特表 2008-515365 (P2008-515365A)
 【公表日】平成 20 年 5 月 8 日 (2008.5.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-018
 【出願番号】特願 2007-532888 (P2007-532888)
 【国際特許分類】

H 0 2 K 1/27 (2006.01)

H 0 2 K 1/28 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 1/27 5 0 1 C

H 0 2 K 1/28 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 20 年 9 月 8 日 (2008.9.8)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

中空筒状の磁石装置 (21、22、31、32、51) を備え、磁石装置 (21、22、31、32、51) が永久磁石 (22、32) 又は短絡棒を有し、且つ軸 (25、39、55) に取り外し可能に取り付けられ、

磁石装置 (21、22、31、32、51) の端面の 1 つに相対回転不能に固定して軸 (25、39、55) と形状拘束的に又は摩擦により結合させるための少なくとも 1 つのリング状の固定装置 (23、26、35、37、53) が設けられ、

固定装置 (23、26、35、37、53) が、磁石装置 (21、22、31、32、51) に固定するためのクランプスリーブ (23、35) と、このクランプスリーブ (23、35) を軸 (25、39、55) に締め付けるためのクランプディスク (26、37) とを備え、このクランプディスク (26、37) がクランプスリーブ (23、25) の磁石装置とは反対側の軸線方向部分に取り付けられるようにした電気機械のための回転子において、

クランプスリーブ (35、53) の磁石装置とは反対側の軸線方向部分にスリットが設けられたことを特徴とする回転子。

【請求項 2】

固定装置 (23、26、35、37、53) が締め付け力を与える少なくとも 1 つのねじを含む請求項 1 記載の回転子。

【請求項 3】

クランプスリーブがアングルディスク (23) である請求項 1 又は 2 記載の回転子。

【請求項 4】

クランプスリーブ (23) が磁石装置 (21) と固定結合された請求項 1 から 3 の 1 つに記載の回転子。

【請求項 5】

クランプスリーブ (53) がテーパ状部分 (531) を備え、このテーパ状部分 (531) が磁石装置 (51) と軸 (55) との間に圧入可能であり、その結果両構成要素の間で摩擦結合が生じる請求項 1 から 4 の 1 つに記載の回転子。

【請求項 6】

クランプスリーブ(23、35)が不均衡を補整するバランスディスクの機能を有する請求項1から5の1つに記載の回転子。

【請求項 7】

固定装置がクランプリングを含み、このクランプリングが、軸線方向にスリットを有し、且つ直接磁石装置に直接取り付けられた請求項1から6の1つに記載の回転子。